

# 過疎のため忘れ去られている文化財を調査・記録し、後世に伝えるための活動

## 落合郷土文化財研究会

### 活動の目的

- ①記録して後世に伝えるのが目的なので、あまり深い検討はせず、いろいろな学問的研究は今後の課題とする。
- ②「むかし話教室」を開催し、高齢者からの聞き取りをする。
- ③地神はどのような理由で、幕末から明治にかけて作られたのか知りたい。
- ④地神も一通りのものではなく、いろいろある事は何故か知りたい。
- ⑤集落として今後、地神の祀りを続けられるのかどうか心配である。
- ⑥当初の場所より、移動された地神があるがどんな理由か知りたい。

### 活動の内容及び経過

- ①旧落合地区にある「地神」を会員が、手分して調査し、現時点では71の地神を探し調査することが出来た。
- ②貴財団のご援助により、本として残すことができた。
- ③過疎と高齢化で探すのに大変な苦労があった。
- ④「むかし話教室」を開催し、多勢の人から話を聞くことが出来た。
- ⑤地神の碑に刻まれている字を読むのに苦労した。
- ⑥何も表示のない石だけの地神もあり、地元の人でないと地神とはわからないものもあった。
- ⑦場所を地図におとしたので、場所の確認にも時間を要した。
- ⑧地元の人に教えてもらった地神も、地神とは異なる別の神様であった事もあった。

### 活動の成果・効果

- ①四月末日までに印刷、発行することが出来た「落合の地神様」の本は非常に好評で、当初50部の発行予定だったが希望者も多く30部追加し80部の発行となった。
- ②地神も旧落合町内に71も存在し、またいろいろと地神についての発見があり、少し深めた検討が今後必要だ。
- ③「むかし話教室」を通じて、地元の人しか知らない話をいただいた。  
その一つに、旧大山道のルートが過疎により不明であったものが、正式ルートを確認することが出来た。
- ④少し年齢の若い人は、文化財とか歴史を村おこしに使えないかと熱心であった。
- ⑤他地区と合同で研修し、生かしたらどうかの意見もあった。

### 今後の課題と問題点

- ①本の発刊を通じてわかった事をもう少し検討し、それをどの様に伝えていくか、又過疎化による地元での地神を



どの様にして守り続けていくのか大きな問題である。

- ②今年度の座談会は新型コロナウイルスの影響により、開催出来ない状態が続いており、今後検討を要する。
- ③「むかし話教室」の参加者を集めるのに苦労があった。しかし集まった人には熱心に聞いてもらえた。
- ④高齢者の参加は、なかなか難しいのが現状である。
- ⑤急速な過疎化をどう対応したらよいか、大きい問題だ。
- ⑥高齢者には、文化財よりもどのように生活を守っていくのが最大の問題と言われた。

- 代表者：難波澄夫 ●所在地：真庭市開田
- TEL：090-3630-8928
- 設立年：2010年 ●メンバー数：24名